

1 主題構成表

主題名「真理を求めて」(中学校・第2学年) 資料名「日本歴史を求めて」(津田 左右吉)

<p>■ 内容項目 A (5) 「真理の探究、創造」 真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。</p>	<p>■ 内容項目から見た生徒の実態 (意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットに掲載された書き込み、友人から聞くうわさなど、偏った狭い情報を絶対的に正しいこととして受け止め、信じてしまいがちである。 成果が表れないと、探究することを諦めてしまいがちである。 <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な情報を興味本位でとらえ、思い込みや一方的な理解をしてしまうとともに、真理を探究する上で多面的・多角的に物事を見つめることの大切さに気付いていない。 困難を乗り越えながら真理を探究することが自分の生涯を豊かにすることを、実感を伴って理解できていない。 	<p>■ 資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史の研究に一生をかけた津田左右吉の生き方から、真理の探究によって得られる新たな発見、見方や考え方が自分の生涯を豊かにすることを考えることができる資料である。 津田左右吉が様々な文献を基に思想に関する歴史をひもとき、一つ一つの疑問を解決する姿から、真理を探究するためには、広い視野に立って多面的・多角的に物事を見つめることの大切さに気付くことができる。 広い視野から多面的・多角的に歴史を研究したことで手にした新たな発見、見方や考え方が津田左右吉の歴史研究の原動力になっていることに気付くことができる。 津田左右吉の真理を探究する姿と自分の生き方を重ね合わせることで、広い視野で真実を見つめ、真理を探究しようとする意欲を育むことができる。
<p>■ ねらい 広い視野に立って様々な視点や角度から物事を見つめ続ける姿勢が、新たな発見や見方、考え方を身に付けることにつながることに気づき、よりよい生き方や社会を求めて真理を探究しようとする態度を育む。</p>		
<p>■ 展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> 幕末から明治維新について研究しようと考えていた津田左右吉が、真理を求め、江戸時代さらには上代の歴史まで調べる姿から、真理の探究には、広い視野に立って多面的・多角的に物事を見つめる必要があることに気付くことができるようにする。 津田左右吉が真理を探究し続けた理由を考えることで、新たな発見、見方や考え方の獲得が真理を探究する原動力になっていることに気付くことができるようにする。 津田左右吉の真理を探究する姿と自分の生き方を重ね合わせることで、広い視野で真実を見つめ、真理を探究しようとする意欲を育む。 	<p>■ 基本発問 (◎中心発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「どんなことでも、そのことだけを見つめていては、その内容の意味を本当につかむことはできない」と考え、広くその時代のことを知り、上代までさかのぼって研究をした津田左右吉の姿勢について、あなたはどう思いますか。 ◎広い視野から歴史を研究することは大変なことです。津田左右吉は、広い視野から歴史を研究することで、どのような喜びを感じていたのだろうか。 ○今日の授業では、本当のことを明らかにするためには、視野を広げ様々な視点や角度から見つめることの大切さを学びました。今後、このことをどんなことに生かそうと思いますか。 	
<p>■ 「私たちの道徳」の活用 (授業前 ・ 授業中 ・ 授業後 ・ 活用しない) (活用の仕方) 授業の終末に「(4) 真理・真実・理想を求め人生を切り拓く (P 32)」を読む。</p>		